

たくさんの投稿ありがとうございました 神明の花火の魅力

今年も多くの方々にご来場いただいた「神明の花火」。多くの人を魅了する神明の花火の魅力について、お便りやメール、facebookなどSNSへ投稿された一部をご紹介します。

ご意見・ご要望から、課題も見えてきました。より良い大会を目指し来年以降に反映していきたいです。多くの投稿ありがとうございました。

第30回 大会実績

- 大会テーマ
世界に届け「神明花火」 平和への祈り
～ありがとう 30周年 あなたと共に～
- 来場者数 約 25 万人（過去最高）
- 花火協賛金 52,483,748 円（192 社）
※町からの花火打上委託金 6,648,000 円を含む
- メッセージ花火 722,000 円（10 件）
- 運営費協賛金 2,850,000 円（74 社・団体）
- 町から運営費へ 補助金 5,000,000 円
- 有料観覧席売上 24,388,000 円
- グラウンド出店 7 7 店（スポンサー、下呂市、町商工会、富士川町商工会、南アルプス市商工会）
- 運営ボランティア 一般 31 名
- 清掃ボランティア 市川中学校ほか 15 団体

f 神明の花火
facebook



—ポスターで振り返る30年史—
これまで 30 回の神明の花火大会をポスターと共に振り返る記事などを掲載しています。

- ・神明の花火を見るたびに、町民で良かったと思います。これからも町の自慢の花火大会であり続けてほしいです!!
- ・音楽に合わせた打ち上げ、一つとして平凡なものではなく、もはや芸術作品でした!大切な人へのメッセージを添えて一発ずつ打ち上がる花火もあり、結婚記念日や長寿祝い、亡くなった家族への想いなど誰かの願いをのせて打ち上がる花火に感動し温かい気持ちになりました。
- ・まさに圧巻。昨年とまた違う、新作花火もあり飽きません。時の人、出来事などのアーティストの曲に合わせての花火も圧巻
- ・「一流花火師が選ぶ絶対に見るべきスゴい花火大会」第1位!まさにその通り!!と、正直思った。色々な花火大会へ行った事あるけど…神明の花火はヤバイ!!!
- ・中層の雲にやられたのは残念でしたがそれでも神明は凄いと考える花火です。夜空の大スクリーンに広がる芸術花火、その場にはないと伝わらない迫力がそこにはありました。
- ・全国でもトップレベルの花火大会と言われているのも納得です。神明花火大会!!凄すぎて笑うしかなかった!!
- ・涙がでるくらい感動する花火でした
- ・TVで初めて知りました。放送直後ネットで調べ、ツアーを申し込みました。ホントにホントに感動しました。最後の花火師さんとのご挨拶、泣きそうになり、私も「ありがとう～」の気持ちを込めて携帯ライト思いっきり振りました。あの日あの時TV見てなかったら、存在を知る事はなかったろうし、この感動を味わうことは出来なかったと思うと、あの日たまたまあの番組を見ていた奇跡に感謝します!花火大会関係者の全ての皆様、本当にお疲れ様でした、そして感動をありがとうございました。

ご意見・ご要望

- 「有料の自由席を整備してほしい」
- 「場所取り可能範囲を制限してほしい」
- 「駅から会場までの距離を表記してほしい」
- 「席の購入方法の再検討（オンラインの充実）」
- 「有料観覧席購入者の駐車場を優先してほしい」 など



第30回市川三郷町ふるさと夏まつり

神明の花火



第30回目の記念となる神明の花火大会は、台風13号の接近や、前日の大雨警報の影響で開催についての問い合わせが多く寄せられていました。

当日午前7時、判定会議が行われ、一滴の雨も落ちない穏やかな天候の中開催されました。

今年のテーマは「世界に届け『神明花火』 平和への祈り」があり、とう30周年 あなたと共に」今大会は、TV番組などでの紹介や30回記念ということもあり、多くの注目を集め全国各地より過去最高となる25万人の方が来場し夜空一面に煌く、約2万発の花火を堪能しました。

記念大会として発売されたタオルやポロシャツ、シールなども多くの方に購入していただきました。身に着けている方も多く見受けられ、会場には、より一体感が生まれました。

今年も大きな事故もなく、無事終了することができました。神明の花火大会は、準備から翌日早朝の片付けまで多くの皆さまのご協力により成り立っています。関係者一同、心から感謝申し上げます。来年も盛大に開催されることを祈ります。





写真で振り返る、神明の花火—

【写真解説】 1. 神明社への安全祈願から「神明の花火」は始まります 2~3. 打上現場では煙火店により準備が進められます 4. 会場へと向かう方々 5. 町観光大使の俳優・深沢敦さんが女優の川俣しのぶさん、重田千穂子さんと共に来場しました 6. 今年も秀逸な進行を務めてくれたUTYの大西アナウンサー 7. 会場周辺では、ロータリークラブによるゴミ袋配布、ポリオ撲滅への啓発が行われました 8. 開始前には姉妹町である西伊豆町が手筒花火で会場を盛り上げました 9. いよいよ打ち上げ開始、今年も花火で夜空一面が埋め尽くされました 10. 翌日の清掃作業には市川中学校をはじめ、多くの方にご参加いただきました

神明の花火大会を支える煙火店に聞く—



株式会社 マルゴー
代表取締役 齊木 智徳

新たな年に—

30周年の節目ということもあり、各方面から注目されプレッシャーも大きかったです。
終盤、風がなく煙が留まってしまう部分もありましたが、雨も降らず、穏やかな天気で30回記念大会を開催でき、たくさんの方に楽しんでもらうことができて良かったです。
今大会は、平成最後の大会でしたが、今後、新たな年（元号）に向けてというテーマが出てくると思います。
今後も花火の町として市川三郷町の知名度が上がり、いろんな角度から町に注目が集まると嬉しいです。そのためにも花火業者としてお役に立てれば幸いです。

第30回記念大会を終えて…

株式会社 齊木煙火本店
国内、世界でも— 代表取締役 齊木 克司

30回の節目の年を無事に終えたことにまずはホッとしています。
今年は、TVでも多く取り上げられ、メディアの評判も高くプレッシャーを感じながら、カウントダウンから最後のフィナーレが終わるまできちんと安全に終えたい、しっかりとさせてもらいたいとの一心でした。
これから市川三郷の2社共々、日本国内、また世界で頑張っていき、その分地元市川三郷町へ返していきたいです。
今大会を含め、これからさらに神明の花火大会の評価が高くなれば、花火業者だけでなく、受け入れ体制ももっと整備していかなければならないと感じました。



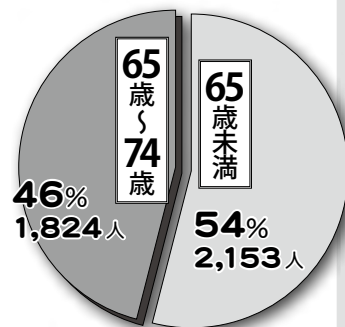
国保・財政

町民の皆さまに関わる問題として、国民健康保険（以下「国保」）制度を支える財政状況を、さまざまな角度からお伝えしています。

町民課国保年金係 ☎ 055-272-1105

■国保加入者の年齢構成

平成30年8月現在の加入者
3,977人（人口15,995人）



加入者の年齢構成を分析すると、65歳から74歳の前期高齢者の加入割合が、平成25年度は38.4%だったのに対し、現在は46%と大幅に増加し、加入者の高齢化が進行しています。

健康管理の第一歩 住民健診を受けよう！

町では生活習慣病予防の取り組みとして住民健康診断を実施しています。

また、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病の該当者及び予備軍を減少させるため、メタボリックシンドロームに着目した「特定健診」を行っています。

診断基準に沿って複数のリスクを持つ受診者に対しては、保健師、管理栄養士などによる「特定保健指導」を実施し、脳卒中や心筋梗塞、糖尿病合併症などの生活習慣病を予防します。



六郷地区では9月に、三珠地区では10月に住民健診が行われます。期限を過ぎても申し込みができますので申し込みがまだの方はお早目にお申し込み下さい。⇒病気の予防、早期発見・早期治療が医療費抑制につながります。住民健診を受診して健康状態を維持しましょう！

町民の約25%が加入している国民健康保険。加入者の高齢化や医療技術の高度化、生活習慣病の増加などにより医療費が増加し、深刻な財政状況が続いています。今回の国保危機シリーズでは、医療費が増える理由、医療費節約のコツ、健康管理の第一歩である住民健診についてお知らせします。一人ひとりが医療費や健康管理に関心を持ち、医療費の削減や負担軽減につなげましょう。国保財政の健全化にご理解ご協力をよろしくお願いします。

医療費が増える理由

■人口構造の高齢化

■医療機関へのかかり方

軽い症状にもかかわらず「初診で大病院を受診する」「複数の医療機関にかかる」などは医療費がかさむ原因になります。

■生活習慣病の増加

生活習慣の変化に伴い、長期治療が必要な慢性疾患の患者が増えています。

■医学、医療技術の進歩

医療技術の進歩により、これまで治療が難しかった病気も治すことができるようになった反面、治療にかかる費用も増えています。

医療費節約のコツ

■生活習慣を見直し、栄養・運動・休養をバランスよくとりましょう。

まずは、病気にならない生活習慣を心がけましょう。

■定期的に健診を受けて健康管理に役立てましょう

健康であれば医療費はかかりません。

【参考】市川三郷町の特定健康診査受診率 **55.8%**（県平均は43.8%、県内5位）

■安易な重複受診はやめましょう

同じ疾患で複数の医療機関にかかる重複受診は、医療費が余計にかかるだけでなく、度重なる検査や投薬で体に悪影響を及ぼすおそれがあります。

■休日・夜間の受診は控えましょう

休日や時間外受診などは、割増料金がかかります。緊急以外は、平日の時間内に受診しましょう。

■かかりつけ医を持ちましょう

病歴や体質などを把握しているかかりつけ医を持つことで、より高い治療効果が望めます。

■ジェネリック医薬品の利用を

低価格で新薬と同等の安全性や効能・効果が認められた医薬品です。

抑えよう！
医療費増加

時間外受診、生活習慣病の増加

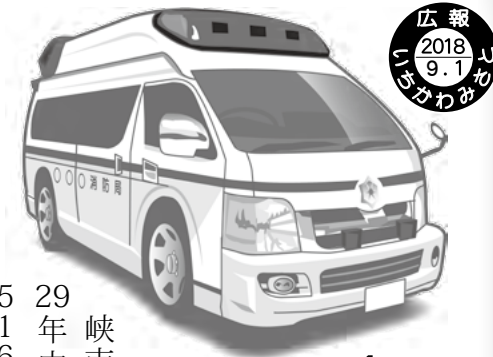
生活習慣の見直し、定期健診の受診
ジェネリック医薬品の利用

進めよう！
医療費節約

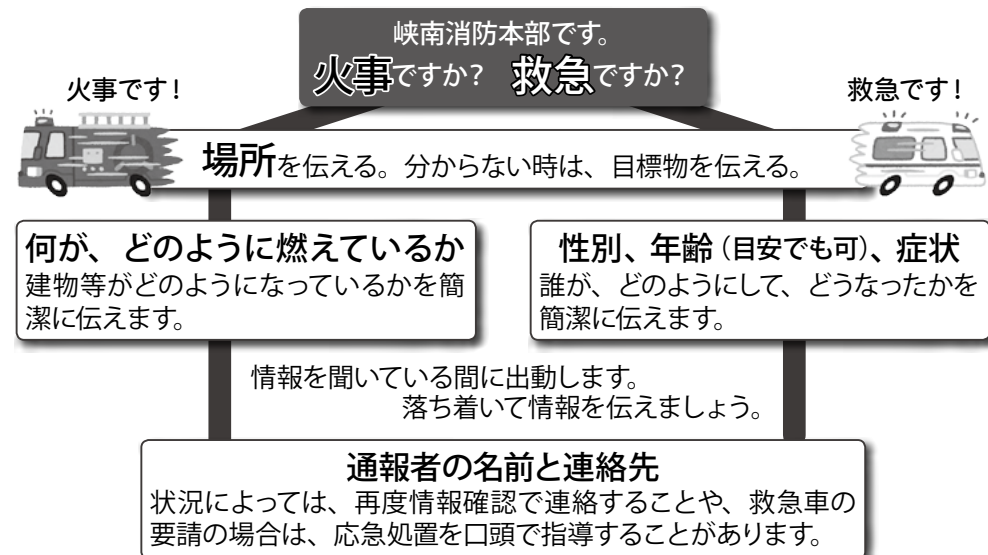


9月9日は「救急の日」

峡南消防本部管内での平成29年中の救急出動件数は2,516件ありました。これは峡南消防本部管内で過去2番目に多い出動件数となりました。消火活動や救急・救助活動は、一分一秒を争う時間との勝負です。もし通報者が慌ててしまい、場所等を正しく伝えられなければ災害現場への到着が遅れ、被害が拡大し大惨事になったり、助かるはずの命が助からなくなる場合もあります。落ち着いてしっかりと情報を伝えることが大切です。災害が発生した場所・状況について通信指令員が順番に聴取り、消防車や救急車を出動させますが、一秒でも早く現場へ到着するためには皆さまのご協力が必要です。



119番のかけ方を再確認して下さい



「サイレンを鳴らさず来て欲しい」はできません。

救急車や消防車が緊急走行する時には、赤色灯をつけ、サイレンを鳴らすよう法律で定められています。迅速で安全な走行に必要不可欠なため、ご協力をお願いします。

ご存知ですか？ P A 連携（救急と消防の連携）

救急出動時、搬送に人手が必要な時や具合の悪い方の状態に応じ、救急車と消防車が一緒に出動する時があります。『救急車を呼んだのに消防車まで来た』と疑問に思われるかも知れませんが、住民の皆さまのご理解をお願いします。

峡南消防本部
☎ 055-272-1919

「全国版救急受診アプリ Q助」

このアプリは住民の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供する為に作成されました。

急な病気やけがをしたときに該当する症状を画面上で選択していくと緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関検索（厚労省の医療情報ネット）や受診手段の検索を行うことが出来るようになっています。

※ iOS8 以上の iPhone 端末・Android4.4 以上のスマートフォン・タブレット端末

※通信料はご利用者の負担となります

スマートフォン用アプリ



総務省消防庁「Q助」案内サイト

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_6/kyukyu_app.html

